



青少相だより



No.68・69合併号

令和7年3月1日発行

発行 成田市青少年相談員連絡協議会

編集 総務部会

事務局 成田市教育委員会生涯学習課

第33回 オールナイトハイク

令和6年7月26日(金)・27日(土)、『第33回オールナイトハイク』が重兵衛スポーツフィールド中台体育館を発着地点に開催されました。悪天候やコロナ禍での中止期間を経て、7年ぶりの開催です。約24キロのコースを一晩かけて歩くこのイベントに市内中学校及び義務教育学校の生徒128名(21チーム)が参加し、みんなで声をかけ合いながら、全員でのゴールを目指しました。

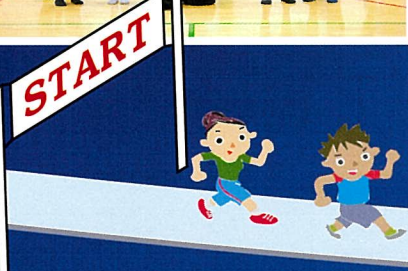


第35回 成田市青少年交流綱引き大会

令和7年2月16日(日)、『第35回成田市青少年交流綱引き大会』が重兵衛スポーツフィールド中台体育館にて開催されました。市内の小学校及び義務教育学校の児童615名(44チーム)が参加し、日頃の練習の成果を発揮すべく、白熱した試合がアリーナ内のあちこちで見られ、会場は大変な盛り上がりとなりました。どのチームも心を一つにして一生懸命に綱を引く姿に、たくさんの感動をもらいました。



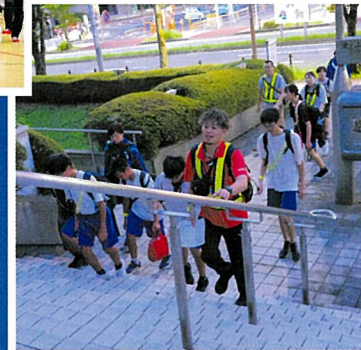
がんばってね



いってきま〜す!



絶対に全員でゴールしよう!



階段きつい...



参加チーム

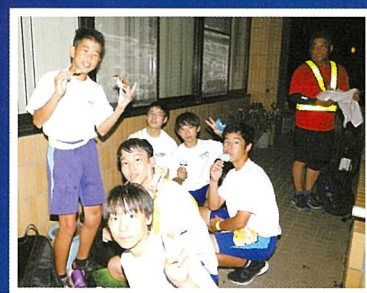
班	チーム名	学 校
1	豆 腐	成 田 中
2	モ 和	久 住 中
3	久 住 中 男 子	久 住 中
4	ヤ マ ン バ	西 中
5	チ ー ム 友 達	成 田 中
(合同)	1 - A ガ ー ル	西 中
6	ほ ぼ 武 道	西 中
7	パッシングウォール	中 台 中
8	おっちゃんずラブ	中 台 中
9	S u n d a y	吾 妻 中
10	チャ ー ハ ン	吾 妻 中
11	な か よ し 組	玉 造 中
(合同)	唐 揚 げ	玉 造 中
12	GO・GO・コケコッコ	公津の杜中
13	オ ム ラ イ ス	下総みどり学園
14	海 苔 ノ リ	大栄みらい学園
15	キューフィフティーン	大栄みらい学園
16	ビ ー ス タ ー	大栄みらい学園
17	ダージリンティ	大栄みらい学園
18	エ イ ト ナ イ ト	大栄みらい学園
19	チ ー ム 大 栄	大栄みらい学園
20	イエローフェニックス	大栄みらい学園
21	チ ー ム キ ウ チ	遠 山 中

【オールナイトハイクに参加して】

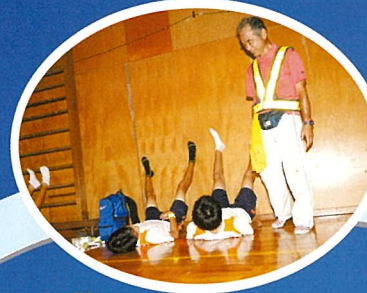
大栄みらい学園 9年 小貫 紀重

初めて夜の街を歩く、ということを体験してみて、最初は不安なことがたくさんありました。体力的にも持つかどうかかわらずに心細い部分もありました。

しかし、チームメイトや他のチームの人たちと共に談笑したり、相談員の人たちと沢山話したりし、緊張や疲れが一気に吹き飛ばすような感覚でした。完歩後には、流石に疲れが顕著に出ていたこともありましたが、何よりも達成感に浸っていました。長いようで短かった一晩の思い出は、とても素晴らしいものでした。



アイスおいしい!



ひと休み
ひと休み...



ゴールが見えた〜



【オールナイトハイクを開催できたことに感謝】

会 長 津 守 潤

第33回オールナイトハイクを7年ぶりに開催することができました。このイベントは、私たち主催者にとっても参加した中学生にとっても、特別な一夜となったと感じています。長い年月を経ての再開ということで、コース選定や安全対策、熱中症予防など、多くの課題に直面しました。特に、雨が降り出すという天候の変化など、トラブルも発生しました。そのたびにスタッフ全員で連携し、迅速に対応することで、無事にゴールできたことは何よりの喜びです。

参加者たちは、夜の自然の中を歩き「普段感じられないものを感じた」「友達と支え合うことで達成感が得られた」といった感想を述べてくれました。彼らを感じた達成感や仲間との絆が、これからの成長に少しでもつながればと願っています。

7年という月日の中で変化したのは、私たちを取り巻く環境だけでなく、参加者をサポートするための準備や視点でした。しかし、一貫して変わらないのは、「中学生たちに貴重な体験を届けたい」という思いです。この思いを胸に、また次回もより良いイベントを企画できるよう、今回の経験を活かしていきたいと思います。

改めて、このイベントの開催に協力してくださったすべての方々に感謝申し上げます。そして、また近い将来、素晴らしい笑顔に会える日を楽しみにしています。

【オールナイトハイクを終えて】

体育Ⅱ部長 飯田 裕一

成田市青少年相談員連絡協議会主催『第33回オールナイトハイク』を7月26日の夜から27日の早朝にかけ開催させていただきました。

天候や新型コロナウイルスの影響で7年ぶりの開催となりましたが、市内中学校及び義務教育学校の生徒128名(21チーム)の参加がありました。

仲間と共に元気いっぱい市内24キロのコースを歩き始めた子供達ですが、途中雨に降られたこともあり時間が経つにつれて疲労や睡魔に襲われ歩みが遅くなる場面もありました。しかし仲間同士で励ましあいながら一歩ずつ進む姿に強い意志を感じゴールにたどり着いた表情には疲労の中にも達成感が滲んでいました。

オールナイトハイクを通じて体力だけではなく、忍耐力や協力する事の大切さを感じてもらえたら嬉しい限りです。

今回、私自身が初めてのオールナイトハイクを経験という中で、多々至らない点もあったと思います。この事業へご理解、ご支援を頂きました関係者の皆様、地域の皆様のご協力が無事に全行程を終える事ができ心より御礼申し上げます。



みんな、おかえり〜

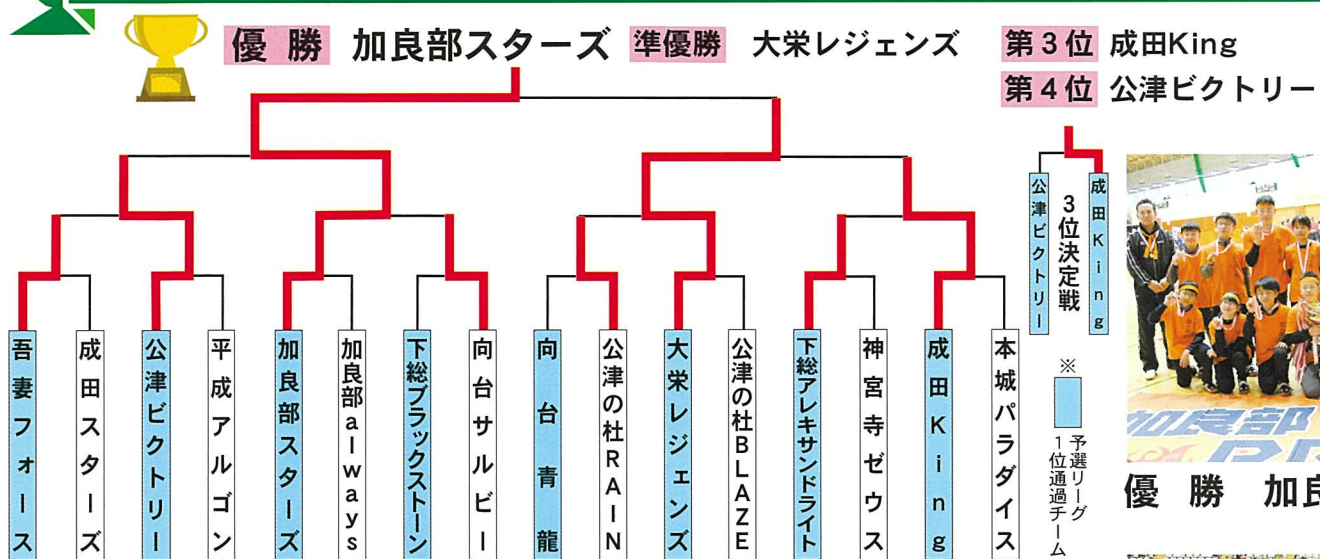


やったー
ゴールだー

GOAL



第35回 成田市青少年交流綱引き大会 決勝トーナメント結果



優勝 加良部スターズ



準優勝 大栄レジェンズ



3位 成田King

「仲間とともに」

加良部スターズ キャプテン 斉藤 一

決勝直前、加良部小全員で円陣を組んだ。みんな盛り上がっていた。体育館には加良部コールが鳴り響いていた。そんな中、不思議と落ち着いている僕たちがいた。ただ前だけを向いて、勝つことしか考えていなかった。

1本目、勝利。勝負の2本目。大栄レジェンズに引っ張られるが、負ける気はしなかった。試合前に「最初は姿勢を落として耐える」と作戦を話し合った。ただただ必死に耐えた。相手も僕たちもシッティングの体勢になった。監督の合図で「せーのっ!」で後ろに立ち上がり一気に引いた。そこからは一瞬で勝負がついた。勝った。歓声が聞こえた。うれしいというよりほっとした。泣いたのは仲間の涙を見た時だった。

この優勝は加良部小史上初と聞いた。仲間みんなでつかみ取ったものだ。そして、監督や相談員の皆さん、学校の先生方、親が支えてくれたおかげだ。自分を信じる。あきらめないことの大切さ。みんなの力が合わさると想像以上の力となること。たくさんのことを学んだ。

最後に、感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんありがとうございました。



「第35回成田市青少年交流綱引き大会を終えて」

会長 津守 潤

第35回成田市青少年交流綱引き大会には、市内の小学校19校から44チームが参加し、大いに盛り上がりました。白熱した試合が繰り広げられたことで、会場にいた皆様と綱引きの楽しさとチームワークの大切さを改めて感じることができました。

どの試合も一進一退の攻防が続き、仲間と力を合わせて綱を引くたびに、会場には大きな歓声が響き渡りました。

勝ったチームは喜びを分かち合い、惜しくも敗れたチームも最後まで諦めずに全力を尽くす姿が印象的で、第21期のスローガン『仲間と共に今を輝け!』を本大会に参加してくれた子供たちから感じる事が出来ました。

最後になりますが本大会を支えてくださった皆様、練習から携わってくれた地域の皆様、応援してくれた保護者の方々に心から感謝いたします。



予選リーグ結果

各ブロック上位2チームが
決勝トーナメント進出

◆第1ブロック

◆第2ブロック

◆第3ブロック

◆第4ブロック

◆第6ブロック

◆第7ブロック

◆第8ブロック

チーム名	学校名	順位
A 八生太郎	八生小	3
B 下総ブラックストーン	下総みどり学園	1
C 三里塚ファミリー	三里塚小	4
D 中台ファイアー	中台小	5
E 公津の杜RAIN	公津の杜小	2

チーム名	学校名	順位
A 本城パラダイス	本城小	2
B 公津の杜WIND	公津の杜小	4
C 新山1	新山小	6
D 向台青龍	向台小	1
E 成田大納言	成田小	3
F 平成ネオン	平成小	5

チーム名	学校名	順位
A 橋賀台グリーンブリッジ	橋賀台小	4
B 加良部always	加良部小	2
C 大栄レジェンズ	大栄みらい学園	1
D 三里塚RiverStar	三里塚小	5
E 公津パワーオールスターズ	公津小	3

「子どもたちのために」

第21期として最後の事業となる、「第35回成田市青少年交流綱引き大会」を開催しました。事故やけがなく無事終わることができたのも、ご理解、ご協力いただいた学校関係者、相談員OB・OGの皆様、そして地域の皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

今年は各学校6年生のクラス数+1チームということで前回よりも多くのチームが参加してくれました。当日の体育館は熱気に包まれ、子どもたちの笑顔や悔し涙、保護者や関係者の声援が響き渡りました。練習、大会を通して子どもたちの成長が垣間見える瞬間があったと思います。その一瞬を共有することが、この貴重な時間を共有できることが相談員ならではの醍醐味だと思います。

今後、大会運営としてすべきことは、その時、その時で常に変わっていくはずですが、改善しなければならないところは多々ありましたが、子どもたちのために相談員一同は邁進してまいります。大会の準備や運営に携わっていただいた多くの方々に感謝を申し上げます。今後とも成田市青少年相談員連絡協議会の事業にご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。誠にありがとうございました。





卒業生の皆さんへ贈る言葉

* * 卒業
おめでとう!!



会 長
津守 潤

ご卒業おめでとうございます。
『仲間と共に今を輝け!』同じ時代を共に過ごす仲間と今の瞬間を精一杯過ごしてってください。
みんなが一生懸命がんばってきたことは、必ず大きな力になっています。これからも新しいことに挑戦しながら、自分の目指す道を見つけ進んでってください。未来が楽しく輝くものになることを期待しています。
私たち青少年相談員は、皆さんが安心して成長し、自分らしく輝けるよう、これからも見守り、支えていきます。皆さんの未来は無限の可能性に満ちています。どうか夢を持ち、その夢に向かって努力を続けてください。皆さんのこれからの活躍を心から願っています。

副会長 佐久間裕介

ご卒業おめでとうございます。これまでの努力と成長を胸に、新しい道へと踏み出してください。出会いや経験を大切にし、自分らしく輝いてください。この先、困難にぶつかることがあっても、乗り越える力を皆さんは持っています。夢に向かって一歩ずつ進んでいくことを心から応援しています。皆さんの未来が素晴らしいものになりますように。

副会長 根本有美子

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。皆さんには無限の可能性があり。夢に向かって羽ばたいてください。皆さんの更なる飛躍と活躍を心からお祈りいたします。これからも皆さんを応援しています。仲間と共にこれからも輝け!

副会長 村島 弘和

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。来年度より皆さんのまわりの環境も今までとは変わり最初は慣れるまで大変かと思いますが、しかし一度しかない人生をぜひ楽しんで生きて下さい。皆様のご活躍と明るい未来を祈念いたします。陰ながら応援しています。

副会長 鳥居 裕史

ご卒業おめでとうございます。みなさんが次の段階に進むことで、新しい友人たちとの出会いが待っているでしょう。その中には長い付き合いになる人もいれば短い付き合いになる人もいます。ですが、例えば短い付き合いになったとしても、大切な友人になることはできます。これからの友人たちともステキな関係が築けるようお祈りいたします。みなさんの進む道に幸あれかし。

副会長 星野 聡子

ご卒業おめでとうございます。学校生活でたくさんの思い出や経験ができたことでしょう。これからの新しいステージでも自分と仲間を信じて、時には周りにも頼って「感謝」と「笑顔」を忘れずに夢や目標に向かってください。応援しています。「人生一度きり」怖くても進め!

総務部長 初井 弘子

ご卒業おめでとうございます。通い慣れた学校を離れる寂しさや春からの新生活を思うと、期待と不安の混じったいろいろな気持ちでいっぱいですね。若い皆さんには、今しかできないことにどんどん挑戦してほしいと思います。皆さんの心が豊かになるような、素敵な出会いが待っていますように。

総務副部長 阿部真理子

ご卒業おめでとうございます! 中学校3年間、小学校6年間の努力が実を結び、新しいステージへ進む皆さんを心から祝福します。楽しかったこと、悔しかったこと、すべてが今後の成長の力になります。これからも新しい挑戦を楽しみ、夢に向かって進んでください。皆さんの活躍を楽しみにしています!

体育Ⅰ部長 荒木 良政

この特別な日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。これからの人生には、多くの挑戦や出会いが待っています。時には困難なこともあるかもしれませんが、勇気を持って前に進んでください。人とのつながりは、これからの人生において大きな支えとなります。互いに励まし合い、成長し続けていって、自分らしく歩んでってください。心からの祝福を込めて。

体育Ⅰ部副部長 玉田 学

皆さん、今日は卒業式という、一つの大きな節目を迎えました。これまで学んだこと、体験したことが、この新しい道を歩むための土台となるでしょう。今日、ここにいる皆さん一人一人が、新しい舞台で輝くことを心から祈っています。皆さんのこれからの成功と幸せを願い、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

体育Ⅱ部長 飯田 裕一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの経験や、出会った多くのご友人は卒業生の皆様の財産となり、いつまでも心に残る事と思います。新しい生活が始まりそれぞれの道に進んで行きますね。輝かしい未来に向かってひたむきに力強く歩み続けてください。これからの皆さんの活躍を期待しています。

体育Ⅱ部副部長 萩原 恵寿

どんなときも、どのようなことにも『ひとりだちのできる子』をめざして力いっぱい取り組んできたみなさん。これからも、仲間を大切に高い志をもって夢や希望に向かって進んでください。さらなる飛躍を願っております。

成田地区会長 伊藤 文哉

卒業という大切な節目を迎えた君たちに、温かな祝福の気持ちを込めておめでとうと言いたいです。学校生活のなかで、時には笑い、時には涙しながら、君たちは多くのことを学び、たくさんの友達との絆を深めてきました。そのがんばりは、新しいステージでの活躍にきっと役立つことでしょう。これからも君たちの人生が、一層豊かなものになること、夢がどんどん広がっていくことを願っています。

久住地区会長 岩館 史宜

「壁」というのはできる人にしかやってこない。越えられる可能性がある人にしかやってこない。だから壁がある時はチャンスだと思っている。」プロ野球、MLBで活躍されたイチロー選手の名言です。皆さんの前には今後数多くの壁がやってきますが、きっと乗り越えることができるはず。期待しております。がんばってください。

八生地区会長 小川 洋一

ご卒業おめでとうございます。皆さんは学校生活の中で互いに助け合いながらたくさんの方の力を学び、心も体も大きく成長されたことと思います。これから先の出会いも一つとして無駄なものはありません。全ての出会いを大切に、そして今いる仲間を大切に、素晴らしい日々を過ごしてください。

豊住地区会長 宮本 雄多

ご卒業おめでとうございます。世界は自分のうつし鏡。ご家族や学校で先生方から学んだ優しさや強い心を胸に、自分自身を磨きながら、未来を自分の力で切り開き、これからの新しい生活に、多くの幸せと明るく希望に満ちた未来を描んでください。皆さんの躍進を心からお祈りしております。

中郷地区会長 小川 幸生

ご卒業おめでとうございます。皆さんの夢は何ですか? 夢を叶えるために大切なのは、くじけそうな時にも挑戦を続けられるかどうかです。昨日より今日、今日より明日、ほんの少しでも自己ベストを更新し続けることができれば、夢は必ず叶う! 皆さんのご活躍を応援しています。

遠山副地区会長 露口 敏伯

ご卒業おめでとうございます。小学校、中学校生活を終え、それぞれの進路に向かって旅立とうとする皆さんは、心も体も成長されたことでしょう。今までの出会いに感謝し、これからの出会いを大切にしてください。中学や高校では、自分の可能性を広げる挑戦の場がたくさん待っています。前向きな姿で、自分の殻を破って下さい。これからも自分の道を信じ、突き進む強さと、仲間と手を取り合う優しさを大切に未来に羽ばたいて下さい。ご活躍をお祈りしています。

公津地区会長 飯嶋 聡

ご卒業おめでとうございます。中学校を卒業される皆さんと綱引きが出来なかったことが未だに残念ですが、皆さんの充実した中学校での様子をみて本当に嬉しく思っています。小学校を卒業される皆さん、皆さんと綱引きが出来て本当に楽しかったです。これからも様々なことに挑戦し、明るい未来を描き、がんばってください。我々相談員はいつまでも皆さんを応援しています。

ニュータウン地区会長 岩川 隆一

ご卒業おめでとうございます。学校生活の中でたくさんの経験をしてきたと思います。それは楽しいものばかりではなく、嫌なものもあったかもしれません。でもその全てがあって今のみなさんがあります。これからもたくさんの経験をしてみてくださいと思いますが、一つ一つの経験を力に成長していくことを願っています。

下総地区会長 石橋 弘行

綱引き練習やオールナイトハイク、地区イベントに参加したことを20年、30年後、思い出してくれることがあれば自分たち相談員にとってこんなうれしいことはありません。これからの人生、うれしいことも悲しいこともあるけれど、自分が持っている無限大のちからを信じて、一歩一歩ゆっくりでもいいので、前に進んで行ってください。ご卒業おめでとうございます。

大栄地区会長 八木 久典

ご卒業おめでとうございます。お互いを信じ、思いやり、助け合えるような仲間とたくさん出会い、その仲間を大切にしてください。この地に多くの仲間がいる事、お世話になった先生方、大切な家族、地域の皆さんがいる事を忘れないでください。君たちの『みらい』に幸多かれと願い、お祝い致します。

令和6年度 千葉県青少年相談員全体研修会

副会長 村島 弘和

「令和6年度千葉県青少年相談員全体研修会」が8月23日(金)に千葉市生涯学習センターにて開催されました。コロナ禍を経て久しぶりに対面での開催となりました。千葉県内の54市町村すべての相談員を対象とし、約200名の相談員が参加しました。千葉県連の宮崎会長の挨拶から始まり、第22期千葉県青少年相談員あり方検討専門部会の早川座長より検討報告・提言がなされました。その中には相談員の活動の充実のために「縦のつながり、横のつながりの連携」、「変化に対応」、「地域の特色を生かしていくこと」の3点が大切であるとありました。また、相談員としての資質向上のためには「自分の目標」を立て、「尋ねる能力(ちから)」を身につけ、「必要な研修を受ける」ことも大事とありました。さらには相談員の活動啓発として、みんなに知ってもらうためにわかりやすい呼びかけをと結びました。

続いて千葉県警察本部サイバー犯罪対策課情報セキュリティアドバイザーの星野和彦氏を招いて「青少年のインターネットに関する現状と課題～SNS5つの失敗～」と題して講演が行われ、最後に実技訓練として、「救急訓練(AED使用)、熱中症対策」について日本赤十字社千葉県支部救急指導員の武半和久氏と大澤真美氏により、実際の訓練を行いながら近年の様々な事例等が紹介され、対策等を学びました。

年1回の貴重な機会に参加させていただいたことに感謝いたします。



令和6年度 印旛地区青少年相談員課題研修会

副会長 鳥居 裕史



7月7日(日)、印旛地区の課題研修会に出席してきました。今回のテーマはモルックでした。モルックとは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なゲームをもとに開発されたニュースポーツです。地面に立て並べられた複数の木のピンをめがけて、モルックという木の棒を投げ、獲得した点数を競うスポーツです。単純ながら戦略性に富んだ遊び方ができ、身体能力を競うものではないため老若男女一緒に楽しめる競技でした。本場のフィンランドでは、バーベキューなどを楽しむ傍らで子どもと大人が混ざって遊んでいる姿もよく見かけるそうです。実際研修会で初めて顔を合わせた人たちとも自然と協力しあって楽しむことが出来ました。遊ぶための一歩を揃えなくてはならないものの、今後成田においても世代を跨いで交流する契機の一つとして浸透していくとよいのではと感じました。

令和6年度 社会を明るくする運動・成田市大会

副会長 星野 聡子



7月26日(土)、成田市保健福祉館内多目的ホールにて、第74回社会を明るくする運動成田市大会が開催されました。

特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルスの小田啓二さんを講師にお招きして、「受け継がれる地域の力」というテーマで講演いただきました。

成田市では、窃盗と侵入盗の犯罪件数が多く、ワイヤー錠での二重ロック、ネットやカバーでの対策、ディンプルキーに交換することで防ぐことができると教わりました。また、子どもたちを守るため、83運動などがPTA・オヤジの会・地域の方たちの活動で受け継がれていると知りました。個人の力だけでなく地域の力での連携も大事だと仰っていました。犯罪は風船のようなもの、割れ窓理論に通ずると思いました。

貴重なお話を聴くことができました。企画・運営に携わった方々に感謝を申し上げます。

令和6年度 印旛地区少年の日・地域のつどい大会

副会長 根本 有美子

今年度は成田市が開催市となり9月29日(日)大栄B&G海洋センター体育館にて「令和6年度印旛地区少年の日地域のつどい大会」が開催されました。

成田市からは下総みどり学園の児童11名が参加しました。今回は市町混合でチームを作りポッチャを行い、各チームは勝つために初めて会ったチームメイトと作戦を練り、最初は遠慮しながらでしたが全試合が終わる頃には皆、昔からの友達のように仲良くなっていました。

閉会式前には各市町のゆるキャラ達も遊びに来てくれ、ゆるキャラ達とも交流することができ、笑顔の絶えない素晴らしいつどい大会となりました。



編集
後記

今年1年の活動を合併号でお届けしました。今期、このメンバーでの最後の活動報告を無事に終えられたことにほっとしています。各行事をサポートして下さった地域の皆さま、OB、OGの方々には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今期の課題は次期相談員に引き継ぎ、よりよい活動となるように努めてまいります。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(総務部長 柳井 弘子)